

紀元2世紀の 浜松を考える

～ 弥生時代後期、伊場遺跡とその時代 ～

第7回 銅鐸の国の形成

都田川流域を中心とした浜名湖北岸地域は、10口の銅鐸が見つかっており、浜松市内最大の銅鐸出土地域です。銅鐸出土地の近傍には弥生時代の拠点的な集落跡も複数確認でき、この地域の繁栄がうかがえます。本講座では、銅鐸祭祀が最盛期を迎えた弥生時代後期の当該地域の様相をご紹介します。

日時 ▶ 令和7年**10月18日(土)**

午前10時～12時

講師 ▶ 浜松市文化財課職員

場所 ▶ 浜松市立細江図書館
視聴覚室

定員 ▶ 40名(申込先着順)

申込 ▶ 9/17(水)10時から

浜松市立細江図書館へ直接

または☎053-527-0185まで

参加
無料



滝峯才四郎谷銅鐸の出土状況

銅鐸を埋納したままの状況を発掘調査により確認することができた数少ない事例です。細江町中川にある滝峯の谷からは、この銅鐸を含め6口の銅鐸が出土しており、通称「銅鐸の谷」とも呼ばれます。

